

有ること
難し

「有り難い」とは

百年に一度、海上に顔を出す目の見えない亀が、広い海上に漂う、穴のあいた一本の丸太の穴に、偶然顔が入るくらい滅多にないこと。

譬喻経より

失つて気がつく
当たり前は
当たり前ではなく
『有り難いもの』だつたと